



市民蔵常右衛門

しみんぐらつねえもん

平成15年から、昭和40年代に絶たれてしまった中津箒の製造販売を行い、文化を残すために活動しているのが「市民蔵常右衛門」中津箒の製造とともに、箒(ほつき)博物館での様々な箒の展示、様々な場所での出店し販売、不定期での箒作り体験などその活動は多岐にわたる。

社長の柳川直子氏が「箒は守るべき文化」だということにスタートし、柳川氏を含めた数名のスタッフを中心に文化を残すために活動をしている。

無農薬で丁寧に育てられた原材料のホウキモロコシ

ここで製造されている箒の特徴は、丈夫で長持ちすること。つり下げて保存すれば劣化を防ぐことができ、穂先が曲がってしまってもお湯をつけてくせを直し陰干しすると元に戻る。きちんと使えば10年は持つと言われている。

また中津の流れを汲む京都の職人が作っていることもあり、箒から上品な雅の気風を感じることができる。

原材料のホウキモロコシの栽培を行っているのが赤坂正延さん。

少しでも有害なものが入らない

よつにと、無農薬で育てている。収穫の時期である8月に向けて、70日ほど時間がかかるという栽培を行い、日々ホウキモロコシの変化に目を光らせている。基本的には温暖な土地であれば栽培は可能だということだが、何も無い所の方が育ちやすい。近くに建物などがあって日が当たらないと育ちが悪くなるので、現在は山や森が見える畑で栽培をしている。

小さいうちは周りの雑草に養分を取られ、成長の妨げになってしまうので雑草をこまめに取り除く。

そして、一番気を付けているのは雨だという。成長期に入ってから雨に当たり過ぎると、成長が遅れ収穫時に良質な穂(箒に使われる部分)が取れない。そうなるとう穂が黒く固くなり、弾力性が無くなってしまい箒の原材料として使い物にならなくなってしまうという。

赤坂さんのように箒の原材料の栽培を行う人、一本一本材料を選びながら手作業で箒を作っている人。それぞれの役割の中で決して妥協をせず真面目に、丹精込めて作っているため、良い箒となっている。



上 / 「市民蔵常右衛門」の箒博物館。
多くの箒が飾られ、ここで作られた箒
の販売も行っている。

右上 / ホウキモロコシを栽培している
畑。良い箒になるよう、赤坂さんが丹
精込めて育てている。

右 / 「市民蔵常右衛門」がある愛川町
の景色。自然の残る環境は、良いホウ
キモロコシを作るのも適している。



市民蔵常右衛門

〒243-0303
神奈川県愛甲郡愛川町中津3687-1
TEL/FAX: 046-286-7572
MAIL: info@shimamura-tsuneemon.biz
HP: <http://www.shimamura-tsuneemon.biz>

開館日 木・金・土・日（月～水の祝日は開館）
開館時間 10:00～16:00
駐車場有り

「一本松」バス停前より徒歩15分
小田急線本厚木駅から、東口の「厚木バスセンター」
より厚60・96系統（上三増行）、厚66（愛川町役
場行）、厚59（半原行）
小田急線、相鉄線海老名駅から、海老名駅西口バ
ス停より海09（愛川町役場行）



「一家に一本あれば安心で きる道具」

「箒は色んな時に役立つので、
一家に一本持つていて欲しい」と
いう。古くから日本の家庭で
は掃除の時に箒が使われていた
ように、家の掃除は箒で済ます
ことができる。音を気にする必
要もなく、電気代もかからない。
妊婦さんのお腹を撫でると安
産になる、「魔を払う」という
意味で亡くなった人の横に置く、
あまり歓迎しない客には箒を逆
さまにして置いておくなど習俗
的な面でも多く利用されてきた。

箒に触れることによって、
「エネルギーを消費するだけで
なく、昔から日本人が営んでき
た自然に近い生活というものを
若い人にも知ってもらいたい」と
いう赤坂さん。
赤坂さんは現在74歳で孫の
世代など若い人達に、自然に近
い生活というのを教えていきたく
という。多くの人に、自然を
生かして作られ、日本古来の伝
統がある箒という道具を伝えて
いくことについて「今の仕事が
生涯最後の仕事になると思うが、
今までで一番良い仕事がまわつ
てきた」と仕事への思いを語る。
このような人の思いも込められ
て、「市民蔵常右衛門」の箒は
作られている。



上 / 箒博物館に飾られた箒。



右 1 / 文化を受け継ぐ若手職人さんの作品。
値段は1000円台～3000円ほど。



右 2 / 様々なシチュエーションで使える小箒。
値段は2000円台～5000円ほど。

右 3 / 箒博物館で販売しているもの。大小様々な箒から、ワラで作られたわらじもある。



右 4 / ホウキモロコシを束ねたもの。この後職人の手によって良質の箒へと作りあげられていく。

イベント情報

汐留博覧会2010

日時：8月12日（木）、13日（金）

場所：汐留シオサイト

JR新橋駅より徒歩2分

JR浜松町駅より徒歩1分

地下鉄銀座線新橋駅より徒歩2分

地下鉄浅草線新橋駅より徒歩0分

地下鉄大江戸線、ゆりかもめ汐留駅より
徒歩0分

